

国際学生フォーラム「あなたはどのように外国語を勉強していますか？」

日時：2015年3月6日（金曜日）14:00-16:00

場所：カザフ国立大学東洋学部棟 503 教室

<概要>

筑波大学の学生とカザフ国立大学東洋学部極東・南アジア学科日本語講座の学生が国際学生フォーラムで交流会を行った。フォーラムのタイトルは「あなたはどのように外国語を勉強していますか？」であり、両大学の学生が外国語を習うことに関して意見交換を行った。

Yem Natalya 学科長によるオープニングスピーチの後、3つのグループが語学学習に関するプレゼンテーションを行い、ディスカッションのテーマを提供した。まず筑波大学のグループは筑波大学のロシア語学習状況に関するプレゼンテーションを行い、「宿題と自習のうち言語を学ぶのはどちらが良いか？」というディスカッションのテーマを提示した。続いてカザフ国立大学日本語講座の3年生のグループが発表を行った。そこでは、speaking, hearing, reading, writing という言語能力が普段の授業と授業外の活動でどのように高められるのかという説明を行った。例えば、授業だけでは不十分な speaking の能力は日本語クラブでの会話練習という形で、writing 能力は Facebook による日本語日記という形で補われていた。彼女達からのディスカッションのテーマは「外国に行かずに外国語を勉強することの問題点は何か？」というものであった。最後に日本語講座の2年生が漢字学習の困難点を説明し、「ネイティブ教師と現地人教師とで、どちらの指導がより効果的か？」というテーマを提供した。

3番目のディスカッションの後に二ノ宮崇司 (カザフ国立大学) がプレゼンテーションとディスカッションの内容をまとめた。そして最後に日本語講座の学生がダンスや歌を披露してくれ、それによって交流会の幕が閉じた。

交流会には30名近い学生が参加してくれた。司会は日本語講座の大学院生2名がつとめた。交流会の使用言語はロシア語と日本語であり、両言語で発表と議論が活発になされた。カザフ国立大学の学生にとって、これは日本語を話す貴重な機会であり、また筑波大学の学生にとってもロシア語で話したり、考えたりする大切な機会となった。このフォーラムによって学生たちは外国語での発表を体験しただけでなく、外国語学習に対して更なる関心を持ってくれたものと思われる。

責任者: 二ノ宮崇司、Shadaeva Madia、Kadikova Samal (カザフ国立大学)